



.....CONTENTS.....

- ささえ愛センター登録団体インタビュー
- 市民活動団体イベントカレンダー

悠遊会



会の成り立ち

無造作に捨てられる古い衣類の縫い目から伝わる温もりや、当時の生活史を語る細やかな手仕事の技を学びながら今に伝えていきたいと共感した人たちが集まって、1996年に悠遊会を創立しました。

木綿が普及する前、人々はどのような衣類を着ていたのだろうか？そんな疑問から時代を遡るうちに古代の編み技術「アンギン編み」に辿り着きました。今日まで脈々と受け継がれてきた貴重な技術を今に活かし、さらに後世に伝えたい。そんな使命感にも似た強い思いに動かされ、この会を継続させてきました。

現在、会員は50～70代の女性15名です。

悠遊会の歩み

会では発足以来、毎年様々な研修や実習、イベントを行ってきました。

研修会

全国各地の遺跡や博物館、歴史あるお寺などを訪ね、古代からの衣類の歴史を勉強してきました。
徳島県での藍染の勉強会を始め、佐賀県の吉野ヶ里遺跡、新潟県十日町市博物館、福島県昭和村での「カラムシ」体験等。

体験実習

古代からの衣類作りを体験してきました。野カラムシの採集から繊維を採り、繊維から糸を作り、古代の技術アンギン編みで衣類を作るまで根気のいる作業です。また、藍染の実習もしています。

文化フォーラム 春日井での展示会

2003年「蘇れ編布あんぎん・縄文からのメッセージ」
2005年「編みの手・いのりの手・自然を詩う」
2007年「伝えたい・こんな時代がありました」
2008年「先人から学ぶ・くらしとその心」
2011年「布のいのち 古布の美学・染・縫・刺・編」
2013年「古の技を現代につなぐ・春日井の彩り」
2015年「悠久の技に学ぶ・次の5000年へ」
2018年「つくる、つながれ、その手に 伝われ、未来へ」
2013年のイベントでは、縄文時代の布から近代までの「衣」を着て「動く衣の変遷ショー」というファッションショーを中部大学の学生さんとコラボして開催しました。

園児や小学生を対象に、「道風くんやサボテンキャラクターを作る」「巾着やハンカチを染めよう」「アンギン編みで携帯電話入れを作る」などのワークショップ等々。

活動内容

毎月	会員の勉強会の開催。
5月	都市緑化植物園で藍染体験会。
6月	落合公園管理棟での染め物の展示会。
11月	エコメッセでの展示会や体験会。
随時	京都の染め工房で染め物の講習会。カラムシという植物から繊維を採り出し、布を作成し縄文時代の着物の再現、また端切れを使用した制作を行っている。
隔月	会報を発行。記念誌や作品集は随時発行。

活動のやりがい

カラムシを用いて制作した縄文時代のイメージ衣を、長野県茅野市の「茅野市尖石縄文考古館」に寄贈しており、現在も展示されていることが、会としては一番の実績です。

どういふ植物を用いて作られた服なのか勉強して、布状にできるほどの繊維を採り出し、縄文服が完成したときは感動しました。縄文服ができるまで7年の歳月を要しました。

都市緑化植物園での染め物体験は、園ができた翌年から毎年行っているのので、子どものときに体験した人が成長してもう一度体験教室に来てくれることがうれしいです。



会の課題とこれから

特異な活動であることもあり、活動が中々広まっていきません。

会員の高齢化やイベントなどの準備などで忙しく、遠方への研修旅行などに行くのが難しくなってきました。

「雑巾は買ってくるもの」という言葉を子どもたちから聞いてショックを受けました。これからの子どもたちに布の歴史と、布を染める、着物を作る喜びと面白さを知ってほしいと思い、これからも児童のワークショップを充実させていきたいと考えています。幼稚園・保育園、小・中学校、子供会など要望があれば体験会に出かけて行きますから声をかけてください。

新しい会員を募集しています

若い方の発想も取り入れることも重要だと思っていますので、あらゆる年代の方に悠遊会に入会していただきたいと思えます。男性も歓迎します。連絡をお待ちしております。

年会費10,000円（定期的な活動、展示会、会報の発行などに充てる）

編集後記（K・K）

布の歴史を知るには縄文時代まで遡らなくてはならないという、まさに悠久の時代を相手にした人たちの集まりである。話を聴いていて大変面白いと思った。この会のことを知る人は少ないと思うので、これを機会に参加されてはどうかと思う。発足以来これだけ素晴らしい活躍をしてきた悠遊会を永く続けていくためにも、特に若い方に入会してほしいと願う。子どもの教育にも役立つのではないだろうか。

市民活動団体イベントカレンダー



記載のイベントは今後中止となる可能性がありますので、参加希望の方は実施団体にお問い合わせください。

日付・時間	イベント名	場所・定員・料金・その他	実施団体・問い合わせ先
4月25日（土） 9:30~12:00	かすがい東部丘陵自然観察会 4月度例会 ※会員外も見学参加歓迎	集合場所：定刻までに第3駐車場へ（少年自然の家北側駐車場） 参加費：無料 会場：築水の森周辺	かすがい東部丘陵自然観察会 担当：内海 勇夫 連絡先：0568-79-6635 （電話及びFAX）
5月23日（土） 9:30~12:00	かすがい東部丘陵自然観察会 5月度例会 ※会員外も見学参加歓迎		
6月27日（土） 9:30~12:00	かすがい東部丘陵自然観察会 6月度例会 ※会員外も見学参加歓迎		

ささえ愛センター

春日井市内で活躍している市民活動団体やボランティアに関心のある市民の方々に支援しています。

場 所：春見町3番地（春見公園すぐとなり）
開館日時：火曜～日曜 9:00～21:30（月曜・12/29～1/3は休館）
機 能：ボランティア・NPOの相談窓口や関連講座など



tel : **0568-56-1943**

sasae-i@city.kasugai.lg.jp web : <http://kasugai.genki365.net/>

トップページのバナー広告主募集中！（<https://www.city.kasugai.lg.jp/shisei/seisaku/koukokujigyou/1006003.html>）

発行：春日井市市民活動支援センター（ささえ愛センター）〒486-0837 春日井市春見町3番地 fax：0568-56-4319